

☆登山とハイキングの
普及と向上に全力をあげよう
☆力をあわせ何としても
300名会員を回復しよう

ろうさんKAGAWA
県連盟だより

香川県勤労者山岳連盟
No.51-7 2017. 9. 26
高松市松縄町1005-4
電話：087-865-7521

仲間づくりに力を合わせよう!! 9・10月は会員拡大集中月間です

8月27日午後の拡大三役会議で、本格的な冬山に突入する前に仲間を増やそうと申し合わせました。日々の山行が活発に行われているかどうかは鍵ですが、県連だよりでお知らせしているように、県内でも大きな格差があるようです。いよいよ紅葉の季節を迎えます。魅力的な山行を具体化し、仲間を増やしましょう。各会運営委員の決意と具体的な手立てが決定的です。会員みんなの力を合わせましょう。

県連理事会⑥の報告

9月20日高松にて 参加12名

◎会勢報告

善通寺 +1 25歳 女 会員の紹介
あけぼの+1 31歳 男 会費を入金
山歩会-1 善通寺-1 = 248名

◎各会のヒヤリ及び事故報告

- ◆9/10東赤石から帰り、丸木橋で足を滑らせ、片足落とす。頭部打撲。(あけぼの)
- ◆9/10石堂山から帰り、風呂塔手前のピークのY字分岐を直進して道迷い引き返す。(塩飽)
- ◆7/29 甲斐木曾駒・参加者の息子さん15才が、足首靭帯損傷。旅行保険処理。(さかいで)
- ◆7/29皇子谷沢小屋手前の豊受側支流に入り込み掛けた足の岩が崩れ転落、右大腿打撲。(塩飽)

◎県連の行事報告

- ①2017坂出登山学校 登山学校担当 植松理事
・公開講座 7月20日(木)第4回講義「歩行技術」
講師 村上 充氏 山登りとは講義内容は違ったが、足裏の重心位置等多いに参考になった。
・7月28~30日第4回実技 木曾駒ヶ岳2956m
受講生10名、さかいで山の会10名計20名
ケーブルカーで一挙に2600m迄上がったの

- で参加女性2名に頭痛の高度障害が出た。
- ・9月5日(火)第五回講義 計画と安全登山
- ・9月22~24日第五回実技 白山(石川県)
台風で9月22~24日に。受講生5名含む11名。
- ・登山学校実行委員会10月4日(水)19:30~ 坂出

②四国ブロック沢登り研修・交流会

8月19日(土)~20日(日)割石川にて研修会
四国各県から38名参加して盛り上がった。

③遭難を考える集い 8団体、28名参加

「新特別基金制度を正しく理解し活用するために」
◆個人山行における山行管理について
改めて登山計画書の提出を周知し、遭難対策基金を活用する。登山計画書の様式は会に任せられている。

- ◆集いで出された質問について、
全国連盟・鶴田運営委員から改めて回答。
1) 救助搜索の交付範囲について、当該会の隊員の交通費・食事代は交付対象、日当は対象外。
2) 見舞金制度について、公開山行が対象。
例会山行に会員外の人が参加しただけでは交付対象にならない。

◆各会の交付申請事案の集約

- ・交付対象事案で、県連理事会でも共有されていない事案があった。
- ・事故一報について全国連盟に報告するとともに県連理事会に報告を徹底。(事故の共有)
- ・交付申請書については、改めて県連理事長に送って捺印して申請することを確認した。

- ・県連教育遭対部として、事故一報・事故報告・交付申



請について改めて整理し、徹底を図る。

- ④**拡大三役会議** 8団体23名参加 組織部
 ◆県連だより6号配信(8月末)各会の企画や取り組み、また、参加者から貴重な意見。
 ◆会員拡大の具体化にむけて
 運営委員会・例会で議題として取り上げていただき、会員に会員拡大の協力を御願いを。
 ◆具体的な手立てとして、ホームページの充実・パンフレット・チラシの作成・活用について対応を急ぐ。幹部の決意と手立てが重要
 ◆第3回拡大担当役員会議
 10月2日(月)・19:00~ 善通寺山の会(事)

- ⑤**救助隊「岩場での合同トレーニング」**
 ◆救助隊役員会10月2日(月) 19:00~ 高松
 11月26日模擬搜索訓練 担当は善通寺山の会

◎今後の県連行事予定

- ①**2017女性交流登山「七宝山縦走」** 10月22日
 参加集約 高松④、善通寺③、塩飽⑤
 計22名 あげぼの⑤、さかいで⑤
 ②**自然保護委員会** 11月12日(日)9時~

第37回五色台クリーンハイキング

- ・講演依頼：「携帯トイレについて」
 (株)総合サービス 高橋マネージャー
- ・自然保護委員会開催 11月1日(水) 塩飽

- ③**四国ブロック遭難対策講演会in徳島・三好**
 11月19日(日)09:30~15:00
 講演「楽しく安全な登山のための体づくり」
 講師：鹿屋体育大学教授 山本正嘉先生
 実技 登山のための体力チェックとトレーニング 法
 意見交換 山岳事故を無すために各県の取り組み
 ※準備として 次回10/18理事会まで下記の各会の報告をお願いします。
 ①事故一報とヒヤリハット事例
 ②各会の遭難対策の取り組みについて

◎全国連盟の関連行事

- ①**2017年全国自然保護担当者会議**
 香川県連より、自然保護担当の安井理事が参加。
 ②**女性委員会40周年記念**
 「第8回女性と登山全国集会」
 12月2日(土)~3日(日) 国立女性教育会館
 香川県連より、横田理事、坂上理事参加予定

救助隊・岩場の合同トレーニングに参加して

坂出・大屋富の岩場で、9月2・3の2日間にわたり愛媛から5人を含む延21人が参加。

1日目は10:00開始して、はじめに救助隊の佐藤隊長からトレーニング中の注意(落石注意、自己確保の実施等)、今回トレーニングの課題と目標について説明。

基礎コースの目標は、確実な懸垂、確保体制からの離脱が行えること。そのために課題は、①確実なロープの結束②確実な確保③懸垂下降④確保からの離脱。

応用コースの目標は、確保体制からの離脱と転落者の救助が行えること。

トップの確保について、半分以上の人が自己流で正しく行っていない。ロープが何かのトラブルで走った場合、摩擦で熱を発するので必ず皮手袋を履いて操作する。確保器の下側のロープは下向きに握っておくこと(離してはいけない)。ロープが弛んだら上向きに繰り出し素早く下向きに折り返し持ち代える手順を習熟する。折り返したロープ2本を片手で同時に握っている人を見かけるが、それでは安全な確保は出来ない。

グループに分かれてロープの結び方、二人一組に分かれて懸垂下降と途中停止の練習を行う。確保器の上にミュールノットと末端処理して、両手がフリーに使えるようにする。そのとき、ハーネスのピレイループにカラビナ1枚(追加)を介すると確保器の上側でミュールノットを作りやすい。

次に確保からの離脱手順の講習を受けて、支点個所でロープを確保器の上で仮固定(ミュールノット)後、立木支点到にシュリングを取付け自己確保する。確保器の上側のロープにシュリングでクレイムハイストを作って、立木支点到に別のシュリング(マリナーノットで長さ調整)を使ってカラビナ連結する。クレイムハイストを上方に滑らせて張り合わせた後、次に確保器の仮固定をゆっくり解除して、立木支点到にロープのテンションを移動してからロープから確保器を解除する。クレイムハイストをセットしたロープを、支点のHMSカラビナにムンターミュールで仮固定して確保からの離脱を終了する。

2日目は、早朝7時から基礎コース、応用コースに分かれて、斜面で復習。

応用コースは10時半頃からよい子の広場に移って、岩場の転落者を救助するトレーニングを行う。ダブルロープにプルージックで転落地点の支点位置まで登らなければならないが、トップロープで確保されているとは言えプルージック登攀は苦勞した。支点位置で複数支点を使って懸垂ロープをセットして、転落者の位置まで懸垂下降し、介助懸垂で転落者を下ろす作業を行った。初めて経験なので、かなりのプレッシャーがかかった。

15時からカウンターラッペルを使った介助懸垂下降手順を習い、斜面でやってみて16時に無事終了した。記：前田



会名	7/24~8/27の山行内容				10月予定		11月予定	
	月日	山行名	CL	参加	日	山行名	日	山行名
高松	9/3 /3-5 /10	★伊予富士 ★富士山 ★瓶が森	藤田 三宅 藤田		07-09 15	◎ ◎公開登山 塩塚峰		
高松H	9/24	◎志保山	田尾		22	◎橋原・維新の道		
山歩会	9/22-24	◎白山(登山学校)	喜馬	2	01 15 29	◎石鎚山 ◎里山ハイク() ◎三嶺	04	★里山ハイク()
五色の峰	8/24-29 9/9 /10 /18 /21 /23-24	★北海道山めぐり ◎紅ノ峰 ★紅ノ峰 ★紅ノ峰 ★烏帽子岩 ★愛媛・世田山の岩場	塚原 宮武 宮武 宮武 塚原 宮武	2 3 2 3 6	02 07-09 14 15 22 29	★紅ノ峰 岩トシ ◎御在所岳 内藤壁 ★剣山~次郎岩 ★紅ノ峰 岩トシ ◎紅葉の山() ◎紅葉の山()	02-05	◎九州の岩場巡り
さかいで	8/31-9/3 9/3 /22-24	★東北5山 ★天狗塚 ○白山(登山学校)	亀山 桑野 植松	6 3+2 4+5	01 08-09 15 29	◎道後山 ★一の森・槍戸山 ○伯耆大山(交流登山) ★石立山	05 23	◎矢筈山(交流登山) ◎泉ヶ山
塩飽	9/9-10 /18-23	◎石堂山~矢筈山 ◎氷ノ山	山内 森	4 13	01 07-09 14 15 29	◎キノコ狩り ◎久住連山 山サロン ◎比婆山 ◎阿讃縦走①~鉢伏山		9/28山行部会で決定
善通寺	9/10 /20 /24 /24	◎こんびら街道 ★まんのつ島ヶ峰 ◎岩トシ 大屋富 ◎ハネツル山	影 音地 森山 石川	4 4 4 12	01 07-09 09 15 21 29	◎大麻山登山道整備 ◎雲取山 ◎石鎚山 ◎危険箇所対処講習 ◎岩トシ 大屋富 ◎三瓶山	03-05 11 25-26	◎英彦山・万年山 ◎岩トシ ◎京都トレイル
あけぼの	8/28 9/3 /9 /10 /20-24 /21-24 /25-30	★笹ヶ峰(新宮) ○稲積ヶ峰 岩登り ★黒森・沓掛山 ★東赤石 八巻トシ ★鎗温泉-白馬三山 ◎奥徳高集中 ★樺平-剣岳-馬場島	星川 三野 岩倉 井原 岩倉 井原 篠原	6 10 2 10 1 6 2+1	30-01 07-09 15 27-29	◎船上山(鳥取) ◎大杉谷・大台ヶ原 ◎佐々連尾山 ◎久住山	05 18・19	◎明神が森・愛媛 ★赤石~我蔵越
観音H	9/10 /24	◎銅山越 ◎黒沢湿原	香川 十鳥	5 6	01 24	五岳山 中津山	19	高見島
県連など	02-03	救助隊 岩登り救助 塩◎			22	女性交流-七宝山	12 26	五色台ヶ原-川ハイク 救助隊模擬捜索訓練

各会の山行一覽とこれからの山行予定

◎例会山行 ☆個人山行

十月県連行事

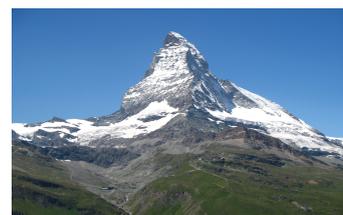
- ◎02日(月) 会員拡大担当役員会議 19時 善通寺山の会事務所
◎02日(月) 救助隊役員会 19時 高松
◎04日(水) 県連登山学校実行委員会 19時半 さかいで
◎15日(日) 県連登山学校交流登山 伯耆大山
◎18日(水) 県連盟第7回理事会(善通寺)
◎22日(日) 2017女性交流登山(七宝山縦走)



善通寺山の会が7月に行ったスイストレッキングの報告を転載します

個人山行

スイスアルプストレッキング



記録 安井昌史 田中瑞代

- ☆日程 平成29年7月1日(土)～9日(日)
- ☆参加者 CL:村上誠美、矢野秀明、宮脇英樹、松岡艶子、三木義明、影俊春、黒渕孝行、黒渕清美、安井昌史(以上A班)
中村玲子、松岡俊昭、池田妙子、田中信三、田中瑞代(以上B班)
- ☆費用
- | | |
|--|----------------------|
| ① ツアー基本料金 ※1 | 348,00円 (ツェルマット組) |
| ② 羽田空港施設使用料・現地空港税合計・航空保険料・燃料付加税・座席指定料金(日本⇄パリ間) | 31,740円 |
| ③ 共同支払い分集金 ※2 | 55,100～64,300円 |
| 1人当たり 434,840～444,040円 | |
| ① ツアー基本料金 ※1 | 331,900円 (グリンデルワルト組) |
| ② 羽田空港施設使用料・現地空港税合計・航空保険料・燃料付加税・ | |
| ③ 席指定料金(日本⇄パリ間) | 31,740円 |
| ユングフラウパスVIP3日間 | 24,700円 |
| ④ 共同支払い分集金 ※2 | 50,055円 |
| 1人当たり 438,3950円 | |
- ※1 航空運賃、宿泊費、ホテル朝食費
※2 スイスパス、その他の登山列車・ロープウェイ、夕食代
その他:旅行保険は各自で加入

7月1日 晴れ

13:50 琴平駅集合 14:10=[琴空バス]=14:55 高松空港 17:40==19:00 羽田空港 22:55 ==

7月2日 雨のち曇り

4:10 パリドゴール空港 7:30==8:30 ジュネーブ空港 9:05==10:30 パークホテルスイス着
バス乗り場 13:40==13:50 グランモンテ乗り場 14:10==14:45 グランモンテ 15:20==16:05 乗り場 16:20==16:35……16:50 ホテル

13:30に琴平駅に着くと、もう既に全員集合している。フランス・スイスは7月からサマータイムで、時差は7時間とのこと。時計をパリ時間に合わせて出発。羽田からパリまで12時間余り拘束されて、エコノミークラス症候群になりそうだった。パリからジュネーブ行きの飛行機は満員で、荷物を積込む作業が結構雑な扱い。「Fragile」表示のダンボールがボロボロになっている。ジュネーブからは貸切バスで国境を越えてフランスに入り、約1時間半でホテルに到着。明日の切符の手配の4人と別れて昼食をとる。カタコト英語ならぬ、カタコト日本語でもなんとかなる。

標高1252mの乗り場から3275mのグランモンテまでロープウェイを乗り継ぎ一気に上がる。展望台までの階段が辛い。遠くはガスで見えない。雪上トレッキングをしている人が何人もいる。気温はマイナス2℃となっているが、それほど寒さは感じない。

7月3日 晴れ

ホテル 8:00……8:10 乗り場 8:30==9:00 エギュー・ミティ展望台 9:50==10:00 ブラン・ト・レギュー 10:05……12:50 峠 13:25……14:20 モンタンベール 14:30==14:55 乗り場……15:20 ロープウェイ乗り場==15:30 ル・プレバン展望台 15:45==16:05 乗り場……16:40 ホテル着

2日目は8:00にホテルを出発しロープウェイ乗り場でガイトのアズミさんと合流。背の高い少し辛口の美しい女性。エギュー・ミティ展望台からは360度の展望。モンブランからグラントジョラス、遠くのマッターホルンまで見える。途中駅のブラン・ト・レギュー駅までロープウェイであり、そこからトレッキングの始まり。アルプス3大名花の一つである、アルペンローゼが群生している。途中どんどん人に抜かれていく。コースタイム2時間半で行く人たちらしい。20分程の登りを過ぎると峠につき、ドリユ針峰が素晴らしい。剣岳や槍ヶ岳がなだらかな山に思えるほどだ。



ガイトさんのドリユ針峰という下衾に沸く。氷河を見ながら長い下りの最後モンタンベール駅に到着。4時間半近くかかった。登山電車でシャモニーまで下り、ガイトさんとはお別れ。午後のトレッキングは中止し、ル・プレバン展望台往復に変更した。

7月4日 晴れ

ホテル 8:25==11:00 フィスフ 11:08==12:14 ツェルマット……12:40 メトロポールホテル着 13:25……ケーブルカー駅 13:40==14:10 ロートホルン展望台 14:30==14:40 ブラウホルト駅 14:45……15:15 シュテリ湖 15:30……16:45 ライ湖 17:00……17:10 スネガ駅==17:15 ケブルカー駅……17:25 ホテル着



8:25にバスでホテルを出発。9:00に国境を越えたところで、トイレ休憩。1ユーロまたは1スイスフランの有料トイレに入る。11:00にフィスフ到着。B班と別れて、11:08分発のツェルマット行きに何とか乗り込む。ホテルまで重いスーツケースを引きずってやっと到着。ほどなくしてガイトのマミさんが現れる。今度は小柄のかわいい女性。靴を履き替えていざ出発。

ケーブルカー、ゴントラ、ロープウェイを乗り継ぎロートホルン展望台で360度の展望を楽しんだ。見える山の中ではモンテローザ 4634mが一番高いとのこと。ブラウホルト駅まで戻り、トレッキング開始。少し歩くとエテルワイス発見。チャボリントウも咲いており、アルプス3大名花を見ることができた。途中のシュテリ湖、ライ湖で逆さまッターホルンを期待したが、子供が水浴びしたりしており、見ることはできなかった。

7月5日 晴れ

ホテル 8:00……8:25 乗り場 8:35==9:20 グレッシュャーパラグアイ 10:00==10:30 シュバルツゼー駅 10:40……11:20 スキーリフト駅……13:26 ヘルリ小屋 14:10……16:00 シュバルツゼー駅==17:10 乗り場 17:25 ホテル
トレッキングチーム シュバルツゼー駅 10:40……15:00 ツェルマット



今日はいよいよヘルリ小屋である。まずはグレッシャーパラダイスで今日も 360 度の展望を楽しむ。展望台にキリストの十字架がある。日本だと大日如来像か？シュバルツゼー駅まで戻り、6 人でヘルリ小屋を目指す。

矢野さん、松岡さん、三木さんはヘルリ小屋に行かず、そのままツェルマットにトレッキングで下るコースを取った。

標識ではヘルリ小屋まで 2 時間 10 分となっている。シュバルツ湖を下に見ながら少し行くと急登となる。その先にスキーバス駅があり小休止する。石鎚山のような手すりのついた鉄網の歩道を少し行くと、なだらかな道となる。小屋がだいぶ大きく見えてきた急登の手前で休憩。最後の 300m ほどの急登を登りきると小屋に到着。2 時間 46 分かかった。途中岩場はあるが、手を使うよ

うなところはほとんどない。小屋でニどん兵衛を食べ、ヘルリ陵の取りつきまで行く。少し雪渓が残っている。ロープにしがみついた写真を撮り、下山する。シュバルツゼー駅に 16 時ちょうどに到着。ゴンドラが停止している。少し待つとようやく動き出したが、下りではなく、登りのゴンドラに乗れと言われる。下りのゴンドラのトラブルらしく、トロッカー・シュテーク (2939m) まで登り返し、大型ロープウェイで一気に下りた。

7 月 6 日 晴れ

ホテル 7:40……8:00 ツェルマット駅 == 8:40 ゴルナーグラート 9:55 == 10:00 ローテンボーテン 10:10…
… 11:50 リッフェルハルグ 13:00 == 13:25 ツェルマット 以後自由行動



今日は荷物をツェルンまで送る手配をする。車で駅まで送ってもらえることとなり、宮脇さんと安井が同乗する。6 人位乗れる構造になっているが、乗り心地はよくない。ツェルマット駅から登山電車でゴルナーグラート (3089m) まで行く。モンテローザを源流とするゴルナー氷河が大きい。今回で一番大きい氷河だと思う。ローテンボーテンまで戻り、

トレッキング開始。少し行くとリッフェル湖があり、逆さマッターホルンを見ながら写真撮影。マッターホルンと昨日歩いたヘルリ小屋を遠くに見ながらしばらく歩くと、リッフェルハルグ駅に到着。レストランで昼休憩とし、十分満喫したので、そのままツェルマット駅まで戻り、後は自由行動となった。

7 月 7 日 晴れ

ホテル 5:25……5:33 ツェルマット駅 5:37 == 6:46 フィスプ 6:57 == 7:23 シュピーツ 7:33 == 7:57 インターレーケンオスト 8:35 == 8:55 ラウターブルネン 9:05 == 9:46 クライネシャテック B 班と合流

ホテルで準備してもらったテイクアウト・ブレイクファストを持って 5:25 に出発。5:37 分発のブリュグ行きに間に合った。フィスプで途中下車して乗り換える。シュピーツで降りてインターレーケンオスト行きに乗り換え。インターレーケンオストで登山電車用の切符を買って乗り、ラウターブルネンでまた乗り換えし、ようやくクライネシャテックに到着。方向さえ間違わなければなんとかなるものだ。クライネシャテックで、すでにユングフラウヨッホに行ってきた B 班と 3 日ぶりの再会。

B班 グリンデルワルト組

7月4日 晴れ

ホテル 8:25 = 11:00 ヴィスプ 11:28 = 11:53 シュビーツ 12:05 = 12:25 インターラケンオスト 13:05 = 13:25 ラウターブルネン 14:08 = 14:13 グルッチェアルプ 14:17 = 14:30 ミュレーン 15:14 = シルトホルン 16:05 = ミュレーン 16:40 = ツバイチューネン = 18:00 グリンデルワルト

JUNGFRAU RODGE 泊

ヴィスプでA班と別れB班はベールーナオーバーランドに向かう。ヴィスプからシュビーツ、二階立ての列車で湖をみながらインターラケンオスト、ラウターブルネンへと電車を乗り継いで行く。ラウターブルネンでは荷物預けに英語力不足で苦戦。受付のお兄さんやお姉さんに冷たくされる。スイスパスを荷物運びのおじさんに見せたら登山電車の後部に乘せてくれてホッとす。ロープウェイでグルッチェアルプへ

グルッチェアルプから登山電車でミュレーンへ、ミュレーンは可愛い綺麗な村、20分位村を歩きロープウェイ乗り場へ、ハーフカードでチケットを買ってシルトホルンを目指す。シルトホルンへのロープウェイで事件がおきた。途中の乗換駅で「ジャパニーズファミリータナカ タ・ナ・カ！！」と呼び止められる！私が何で日本人の「タナカ」と知っとるん?? 何か重大な事件を起こしたのか！「チケットを見せろ！」と言うので見せると「違うスイスパス！これはハーフパス！」とイケメンのお兄さんが真っ赤な顔で興奮気味に言うのでますます困惑！『私のスイスパスが無い！！どーしよう！！』「帰りに下のオフィスに寄って！」とイケメン兄さんに怒られる・・・そんなこんなで女王陛下の007の舞台になったシルトホルンは気もそぞろで下山。加藤滝夫さんのコーナーも楽しみにしていたのに・・・チケットを買ったオフィスに寄ると私のスイスパスを預かってくれていた。チケットを買った時に何らかで残ったようだ。帰ってきて一安心。スイスパスって高く本人のサインがいるのです！



ミュレーンからツバイチューネンを経由してグリンデルワルトへ
泊客はほとんどが日本人のエンゲフラウロッジ 夕食は中国料理

7月5日 晴れ

7:40 グリンデルワルト = グロッシェシャイテック (1962m) …… 11:00 フィルスト (2165m) 昼食 12:15 …… 13:20 ハッハアルプ湖 13:40 …… R eeti 山トラバース 15:10 …… 17:20 ブスアルプ 17:43 = グリンデルワルト 18:10



今日はいよいよ、ロングコースのトレッキング、グリンデルワルトから郵便バスでグロッシェシャイテック (1962m) へ、ホルンのような警笛を鳴らしてアルプの山道をジグザグに上る。グロッシェシャイテックは大きな峠という意味だそうだ。アイガー北壁が左手にそそり立つ。

ちゃんと中村リーダーの準備体操

をして、和歌山のパーティと同時出発。お花畑や放牧の牛さん達・・・人も少なくのんびりとブエッターホルン (3692m)

の岩壁を見ながらトレッキングを楽しむ。



フィルスト (2165m) のレストランで時間をとった昼食。フィルストではフィルスト・フライアー 800m の距離をブランコに乗る格好で駆け抜けていくアトラクションに TAEKO さんチャレンジしたそうだった。フィルストからは少し上り。お花畑を通りバツアルプ湖へ！美しい湖でメンバーは夢見心地でくつろぐ。湖の南側を通る道を通り、Reeti 山をトラバースする。ゴーロ状で山らしい。「あれがアイガー、メンヒ、ユグフラウ」「いやいや違うあれが・・・」と位置関係で激論をしながら景色とお花畑を楽しんだ。

避難小屋の少し先の分岐からブスアルプへ下る。



長い下り、ゆっくり進みすぎるメンバーにタイムキーパでもある S L が無口になっていく。ネットで調べたら 17:30 が最終バスらしい。『遙かに見えるあの峠を越えないと・・・』と思っていたら、反対方向に郵便バスが下るのが見えた！17:30 が迫っている。S L が REIKO さんと TAEKO さんに「先に下ってバスを止めておいて」と指示。ブスアルプにヤレヤレと着くと先に見えたのが最終バス。間に合わなかった！

レストランでタクシーを呼んでもらうように交渉すると「3時間歩いて帰るしかない」と言われる。タクシーも来ない場所・・・ツアー会社の電話もつながらない。バスの時刻表にはもう一便あるけど到着場所の表示が違う。歩いて帰る覚悟を決めた頃、もう一便のバスが到着。大きく Grindelwald とかいてある。17:43 発グリンドェルワルト経由マイリンゲン行だった。あー良かった！ブスアルプと言う地名は一生忘れないと思う。

夕食はホテルアイガーのバリーズでスイス料理



7月6日 晴れ

7:30 グリンデルワルト駅荷物発送 == 8:15 グルト == 8:45 メンリッペン 9:00……12:00 クライネシャイテック
13:33(昼食) == ユングフラウヨッホ 15:00 == 16:20 クライネシャイテック 16:33 == 17:13 グリンデルワルト

チューリッヒまで荷物を発送してグルトへロープウェイでメンリッペンへ。ここからクライネシャイテックまでハイキング。ユングフラウ三山を眺めながら終始緩やかな下りで、乳母車をおしてでも行けると言うコースを楽しむ。周囲は広々としたアルプやグリンデルワルトの谷を眺めながら進む。正面にアガ-北壁が迫力満点！余裕でクライネシャイテック到着。少し離れた静かなレストランでビール付きの美味しい昼食。テラスからは昨日歩いた長いコースが望めてメンバーは再びの感動！ゆっくりと昼食を楽しむ。午後から登山電車に乗ってユングフラウヨッホへ。中国人やインド人、世界各国の民族でごったかえしている。



良くこんな場所に 100 年も前に登山電車を作ったもんだと驚いた。



ユングフラウヨッホ駅からエレベータで 3571m のスフィンクス・テラスへ全面ガラス張り。アルッチ氷河を見物。

エレベータを降り、氷の宮殿をぬけて、雪原に出た。ユングフラウをバックに記念写真。やれやれスゴイ人ひと。ユングフラウヨッホは

巨大アミューズメントだった。ハイキングより疲れた。

夕食はインド料理 Golden India



7月7日 晴れ

ホテル発 8:00……8:17 グリンデルワルト == 8:50 クライネシャイテック A 班と合流 9:50
11:01 クライネシャイテック == 12:03 ラウンターブルネ == 12:24 インターレーケンオスト 13:04 == 14:45 ルツェルン
16:35 == チューリッヒ 16:30 == 18:25 MOVENPICK AIRPORT ホテル着

TUYAKO さんからタイムラインで「出発を予定より早くしたので一時間以上早く着く模様」と連絡を受ける。



又クライネシャイテックに上り、近くの山を散歩したり、お土産を見たりしながら A 班を待つ。

9:50A 班と無事に合流。5 時にホテルを出たそうだ。昨日リサーチしていたレストランへ案内。A 班は短い時間を惜しむようにクライネシャイテックの風景を楽しむ。

ラウンターブルネ、インターレーケンオスト、森と湖を見ながら經由ルツェルンへ

ルツェルンの旧市街を観光してチューリッヒへ

モーヴェンピックホテルにて夕食

7月8日 晴れ

10:25 チューリッヒ空港 == 11:45 パリ・トコゴール空港 13:30 == 関西国際空港 9:00 (日本時間)

狭くて満員のエアフランスで？ 約 12 時間かけて関空へ。関空にて解散した。